

10年後の佐用町で大切にして
いきたいことのために
「私」が、「私たち」ができること

企画防災課 まちづくり企画室

前回のふりかえり

今まで
以上に

みんなで考え、話し合ってつくる『みんなのための総合計画』

前回 話し合いの内容

- 10年後の佐用町のために大切にしていきたいこと
- まちの将来像

についてみんなで分け隔てなく話し合いながら考えました



今回

- 私が、私たちが10年後の佐用町のためにできること

前回のふりかえり（佐用町の状況）

○面積	変わらない
○人口	減少
○職員数	減少
○公共施設 (維持管理費)	増加
○水道 (維持管理費)	増加
○町道 (維持管理費)	増加
○財源	減少

出てきた佐用町での課題

- ・地域コミュニティ維持困難
- ・医療などのサービス低下
- ・買い物困難
- ・交流機会の減少
- ・鳥獣被害の増加
- ・労働力の不足
- ・消費の低迷（企業活動低下）
- ・企業の撤退・倒産の増加
- ・就労先の減少
- ・地域行事や伝統芸能の消滅
- ・人口流出の加速
- ・少子高齢化の加速
- ・空き家の増加
- ・耕作放棄地の増加
- ・景観の悪化
- ・税収減少、財政悪化
- ・職員数減少し、行政機能が弱体化
- ・災害対応に支障
- ・インフラ（水道、道路、橋）の更新が困難
- ・交通サービスの維持困難
- ・介護人材の不足

安心・安全で幸せと思える暮らしをいかにして
守っていくかを考えなければならぬ

前回のふりかえり（新たなまちづくりの考え方）

これからも

より心豊かで幸せと思える

佐用町がつづいていくために

どう取り組んでいくかを考えていく

前回のふりかえり（より心豊かに幸せに暮らすために）

積極的な取り組みや新たな考え方への転換や受け入れが大切

R 5～

佐用町：縮充のまちづくり

【縮充】

将来を見据えて前向きに取り組むこと
(変えていく、受け入れていく)

縮充という言葉はつかっていないが、
将来を見据えより充実したまちにするための取り組みは大小みんなしてきている？

取り組み事例

- 町の合併
- 若者グループ活動応援事業
- 地域のかたが家庭科授業

- 海内外地域づくり協議会の若者へのサポート
- 地域デイサービス（既存事業との複合）
- 気軽に集まれる場所の提供

これまで以上に多くのみんなが参加し、考え、取り組むことが重要

前回のふりかえり（次期総合計画の仕立て）

【コンセプト】

縮充のまちづくり

“小さくても 少なくとも こころ豊かでしあわせ”

【大切にしたいポイント】

○実際に手に取って使える

○行政のためだけでなく、住民のためにもなる

みんなの総合計画

前回のふりかえり（参考にしたい他市町の計画）

01

クルマでは出会えない
人や時間をもう一度！
歩いて暮らそう。

島に住む私たちは、近所にも車で行くほど、車に依存しています。車は便利な乗り物ですが、歩く習慣を失うことは、2つの問題につながります。それは、健康と環境です。

多くの生活習慣病の原因のひとつは運動不足。健康づくりのために、歩くことからはじめてみませんか？自分のペースにあわせて、歩く時間・歩く日を決めたり、仲間との散歩や歩くイベントを企画してみるのも楽しいもので



1人でできること

す。また、「行きはいいけど、帰りは疲れて歩けない」といった時は、バスを利用したり、ヒッチハイクができるようになると、歩く人も増えるかもしれません。

よく歩くことは、ガソリン代の節約になります。これからさらに高騰する可能性があるガソリン。温暖化はじめとした地球環境悪化を防ぐためにも、エネルギーの節約は重要な課題です。

歩く暮らしをみんなすれば、見えていなかった風景を見したり、人の出会いや交流も生まれます。ゆっくり流れる時間を持つこと。それは、毎日の暮らしを豊かにし、まちの雰囲気を変えることにもつながります。

役場の健康福祉課には、ウォーキングマップがあります。ぜひ活用してください。



07

趣味から広がる
出会いの場、
海士人宿につどおう。

海士人宿とは50年ほど前まで海士町にあった、若者の寄り合い所のようなところ。そこでは、人が出会い、明日の海士を熱く語ったといいます。現在海士町は、UIターンで移住する人も増え、顔は知っているけど話はしたことではないという人が増えているようです。その原因のひとつに、ふらっと立ち寄っておしゃべりする場所や、みんなが盛り上がる場所がないことがあります。



10人でできること

そこで、現代版海士人宿をつくりたいと考えています。場所は、島内にある使われなくなった保育園などの空き施設。キーワードは「趣味」です。空いている場所で、自分の趣味を活かして、島内の交流を生み出すという作戦です。例えば、サッカー好きが集まってのサッカー観戦会を計画したり、手芸が得意な人は、工房をつくるて手芸教室を開いたり、料理上手が日替わりでカフェを運営してみたり……。予算をかけて新しい施設をつくるのではなく、あるもの（技）を持ち寄って、お年寄りから若者まで、誰もが楽しく過ごせる空間、それが海士人宿です。

まずは、みんなが使えるコピー機などの道具や設備を整える必要があるでしょう。そんな場所づくりから、多くの仲間に出会い、海士で暮らす楽しみがつながっていくように思います。こんなことしたい、あんなことしたいを持ち寄って、海士人宿と一緒につくりましょう。



ひとり～みんなでまちづくりに取り組むための表現

16

海士町単位で考える
自給自足と地産地消。
欲しいものは島でつくる。



100人でできること

人口の少ない海士町では、島内で需要が少ないため、いかに全国で売れるものをつくるかに腐心してきました。しかし、多くの島民は島の外からたくさんのものを買っています。

一方で島には需要がないといい、一方で島には欲しいものがないといいます。このアンバランスの原因は、本当に島民が必要としているものが何か、わかっていないことがあるのではないかでしょうか？例えば、唐辛子などのスパイス、石けん、子ども服、牛乳など。海士町でつくれないものもあるでしょうが、これならできる、というものがたくさんあるはずです。もし、島の中で、島の人気が買ってくれるものを作ってくれれば、それは島単位でみれば自給自足になります。そこには、輸送コストもエネルギーもかかりません。つまりとっても無駄がないのです。

まずは、島内にまだ気づいていないニーズはないか、調査する必要があるでしょう。さらには、海士町もあるけど、わざわざ島外のものを買っている人には、なぜ海士町のものを選ばないか聞くことで、よりよい商品開発ができるかもしれません。町内自給・町内消費。海に囲まれた海士だからこそ、地産地消の推進が大切です。

連携プレーが大切です。
地域が支える学校づくり。

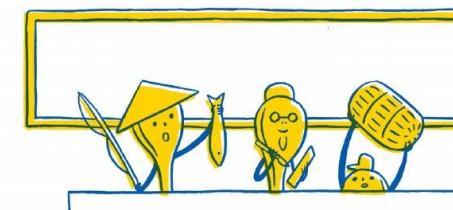
21

連携プレーが大切です。
地域が支える学校づくり。

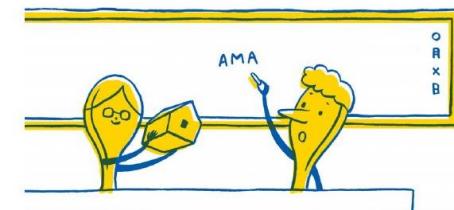
うな体制の整備や、海や山、島の自然の中で存分に遊べる環境の提供、地域の中で生きる力を養えるよう、地域文化の継承や地域の手伝い、働く体験をする機会を増やすなど、学校単位ではできない横断的な支援を考えられます。

こうした活動をするためにも、保護者や地域、学校との連携を進めるための仕組みづくりが大切です。また、子育てが終わった世代にも、地域で子どもを育てるんだ、という意識を持ってもらうことも重要です。お年寄りに子どもとの接点を持つてもらうことは、お年寄りにとっても、生きがいにつながるかもしれません。

地域が支える学校づくり。島全体で子育てをすることで、海士町への愛郷心も育てていきたいものです。



1000人でできること



島根県海士町

前回のふりかえり（参考にしたい他市町の計画）

私たちが大切にしたい思い —4つの基本姿勢—

都市像の実現に向けて、私たちが何を大切にしようとしているか。

その思いを4つ示しています。

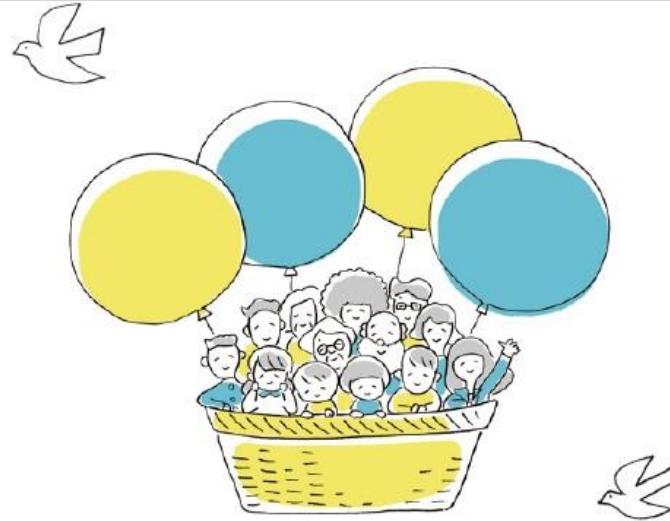
これらは、年齢や立場に関係なく、川西に関わるあらゆる人と共有しようとするものです。

まちは、一人ひとりの暮らしで形づくられています。

私たちは、年齢や立場はそれぞれ違いますが、縁あって同じまちに暮らしています。

川西で感じられる心地よさを次世代に引き継げるよう、

一緒に考え、取り組んでいきましょう。



I まず、「子どもの幸せ」から始めます。

子どもたちの笑顔は、世代を超えたぎわいや活力を地域にもたらします。

私たちは、笑顔あふれる子どもの成長を通じて、

あらゆる市民が幸せを感じられるまちをめざします。

II 人に寄り添い、 お互いの個性を認め合います。

誰もが、地域の一員として誰かを支えたり、フォローできる役割を少しづつ持っています。

私たちは、各々のペースでまちに関わりながら互いを尊重し、

多様な個性を認め合えるまちをめざします。

III 未来に責任を持ち、 持続可能な仕組みをつくります。

このまちを、未来の子どもたちにしっかりと引き継ぐ責任が私たちにはあります。

私たちは、人口減少社会や自然災害等を見据え、既存のまちのあり方を柔軟に見直し、持続可能なまちをめざします。

IV 日々の暮らしで感じられる幸せを 大切にします。

一人ひとりに安らげる居場所や充実した時間があることで、

このまちで過ごす時間がかけがえのない思い出になっていきます。

私たちは、「やってみたい」ことに自らチャレンジでき、

それを応援し合えるあたたかいまちをめざします。

全体的にやわらかい表現＆わかりやすい内容の表現

兵庫県川西市

前回のふりかえり（考えていきたいこと）

小さくても 少なくとも
こころ豊かで幸せとおもえるまち
になるために

私たちは、
何をすればいいのか
何を大切にしていくのか

みんなで考える

総合計画の全体像

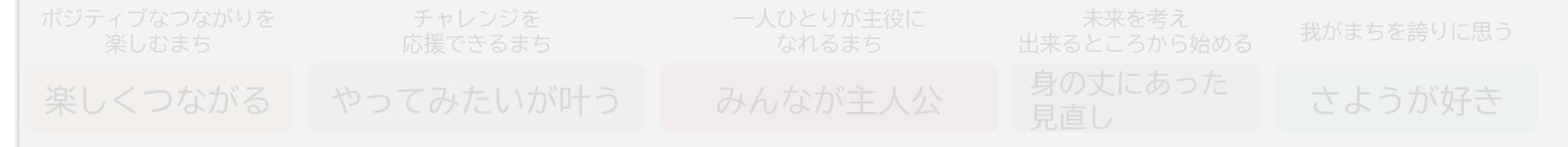
めざす将来像	将来像	小さくても 少なくとも こころ豊かで しあわせと 思えるまち（仮）		
	10年後の佐用町のために 大切にしていきたいこと			
めざす将来像のために 行動や取組み	私が、私たちができること ※みんなで取組むことを表現			
基本計画	行動や取り組みを 後押しする各種施策 (行政・団体・個人)	施策		
ポジティブなつながりを 楽しむまち	チャレンジを 応援できるまち	一人ひとりが主役に なれるまち	未来を考え 出来るところから始める	我がまちを誇りに思う
楽しくつながる	やってみたいが叶う	みんなが主人公	身の丈にあった 見直し	さようが好き
縮充マインド				

総合計画の全体像

めざす将来像	将来像	小さくても 少なくとも こころ豊かで しあわせと 思えるまち（仮）
	10年後の佐用町のために 大切にしていきたいこと	

めざす将来像のために 行動や取組み	私が、私たちができること <small>※みんなの想いを表現</small>	
基本計画	行動や取り組みを 後押しする各種施策 (行政・団体・個人)	施策

前回話し合った部分



縮充マインド

②まちの将来像

- ・ここ豊かで しあわせと思えるまち
- ・やっぱり私は佐用が好き
- ・小さくても 少なくとも こころ交わる しあわせなまち
- ・大丈夫やで佐用町！

- 大切にしたいポイント・意見
- ・安心して挑戦できるまち
 - ・水・お米がおいしい／佐用の魅力／美味しい／美しい
 - ・短いフレーズの方が覚えてくれる
 - ・「小さくても 少なくとも」というのはひげし過ぎ、肯定的な表現にすることが大切
 - ・「小さくても 少なくとも」はネガティブ

①10年後の佐用町のために大切にしていきたいこと

【 気持ち 】

- ・安心感
- ・楽しさ
- ・感謝
- ・ありがとう感謝
- ・ゆる～く
- ・なんとなく好き
- ・佐用が好きという想い
- ・郷土愛
- ・楽しく過ごせる
- ・温かい心
- ・ほこり
- ・笑顔
- ・なにごとも楽しめる
- ・寛容
- ・明るい前向きな発想
- ・目上の人を敬う気持ち

【 交流 】

- ・話し合う
- ・場
- ・あいさつ（知らない人にも）
- ・あいさつ、声かけ
- ・手をつなげる佐用
- ・つながり
- ・人と人とのつながり
- ・女性が参加しやすい環境づくり
- ・歩いて交流
- ・全世代が交流する場
- ・隣人との交わり
- ・地域のつながり
- ・地域交流
- ・地域の交流
- ・地域の方々と仲良くする
- ・自分の居場所が必ずある（どんな人も）

【 学び 】

- ・勉強し続ける
- ・考える
- ・高校
- ・失敗できる環境
- ・道徳的教育
- ・佐用での体験
- ・子どもが楽しく学べる学校
- ・ひとつでも多くの選択肢があること

【 自然 】

- ・山と人里の境界維持
- ・里山
- ・自然
- ・清流
- ・四季
- ・木
- ・水

【 歴史・文化 】

- ・地域の伝承／言い伝え
- ・歴史故事
- ・佐用の文化・風土
- ・祭りなどの地域の行事を守る

【 仕事・活動 】

- ・働き場所
- ・第一次産業の担い手育成
- ・やりたい事ができる

【 子ども・若者 】

- ・子どもが誕生できる
- ・子どもが自分の気持ち、意見が言える
- ・子どもの喜ぶ姿
- ・子どもが安全に笑える
- ・若者が定住できるまち
- ・若者が「残りたい」と思える環境づくり
- ・安心して子どもを育てる環境

【 公共・行政 】

- ・駅
- ・医療体制
- ・姫新線・智頭急行の保持
- ・行政サービスの充実
- ・施設の有効利用
- ・安心して通れる道路
- ・公共交通の維持
- ・手続きのデジタル化

【 高齢者 】

- ・高齢者が安心して暮らせるまち
- ・高齢者に（が）不安がない（に思わない）



前回からのまちの動き

①町内中学生（3年生）へのまちづくり出前授業実施

- ・ 2025.12.19 三日月中学校3年生
- ・ 2025.12.22 上津中学校3年生
- ・ 2026.01.16 上月中学校3年生
- ・ 2026.01.20 佐用中学校3年生

②佐用町の充実度アンケート実施 2025/12/25～2026/2/9まで

1/28時点の回答状況

- ・ 町内在住／町出身者向け (回答数： 288)
- ・ 町内小中学生向け (回答数： 26)
- ・ 町外者向け (回答数： 28)
(合計 : 339)

中学生へのまちづくり出前授業の様子



三日月中学校



上津中学校



上月中学校



佐用中学校

- ・ただいま 温かい 佐用町
- ・あいさつで 周りがほほえむ さよう町
- ・～レッツゴー 知っておもろい佐用町 全国へ～
- ・おさよん おはよん！
- ・自然を愛し 共存共栄

10年後も佐用町で暮らしていくために大切にしていきたいこと

【暮らし】

- ・安心・安全で暮らせる生活
- ・衣食住
- ・おいしいものが食べられる
- ・今の優しい雰囲気を保っていきたい
- ・お店を増やす

【つながり】

- ・地域の人、じいちゃん、ばあちゃんとの交流や会話
- ・友だちがたくさんいる
- ・地域の人々とのつながり

【自然・環境】

- ・自然を大切にすること
- ・自然と触れ合えること
- ・動物への気遣い（住むところ）
- ・森を守る
- ・自然を保ちつつ暮らしやすさもある町
- ・ゴミ拾い
- ・きれいな町並み
- ・きれいな町を保つ
- ・ちょうどよい環境の維持
- ・環境の維持
- ・佐用町の良い所を保つ

【地域内循環】

- ・地産地消する
- ・地産地消を続けていこう（佐用町内で経済をまわす）

【学び・挑戦】

- ・佐用町についてよく知る（課題含む）
- ・チャレンジできること

【居場所】

- ・遊ぶ場所やお店などのたまり場が欲しい
- ・遊べる所とかお店などのたまり場（今は支所）

【助け合い】

- ・近所の人たちで助け合いの精神
- ・共生の精神
- ・助け合いの精神
- ・お年寄りを大切に
- ・共存共栄

【行事】

- ・地域の行事に参加する
- ・町の行事に参加
- ・地域のイベント

【仕事】

- ・職場を増やす
- ・働きやすい環境
- ・米作り（農業）

【公共交通・施設】

- ・交通（JRやバス停を増やす）
- ・施設（図書館とか）を増やす
- ・おじいちゃん、おばあちゃんを大切にする施設をつくる

大切にしていきたいことのために「私」が「私たち」ができること

【自然・環境】

- ・ゴミ拾いをする
- ・ゴミ箱を設置する
- ・ゴミを燃やさない
- ・自然を壊さない
- ・自然を愛す
- ・動物とうまく住みあう



【行事】

- ・地域のイベントに参加する
- ・町内のイベントに参加する

【つながり】

- ・あいさつをする
- ・おかえりを言われる
- ・人との関わりを大切にする
- ・地域の人の名前を覚える
- ・おじいちゃん、おばあちゃんと買い物をする
- ・交流授業を増やす

【公共交通・施設】

- ・公共交通機関を使うことを増やす
- ・列車を出来るだけ利用
- ・公共の施設をたくさん利用する

【助け合い】

- ・近所の人が困っていたら助ける

【仕事】

- ・農業をする
- ・自分が店をひらく！

【地域内循環】

- ・町内で買い物

【知る】

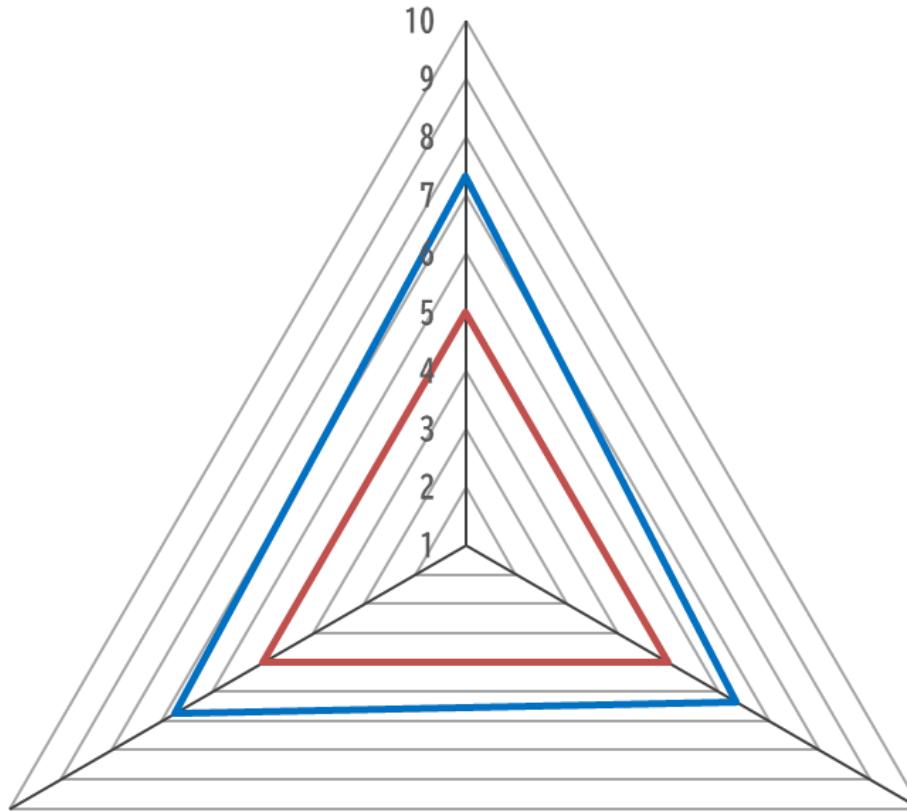
- ・町に関する情報に興味を持つ（広報誌や佐用チャンネル）

【PR】

- ・特産品を広める
- ・特産品を買う
- ・生徒会での活動を紹介する
- ・佐用町のいいところをSNSを使って広める（特産品や自然、人の優しさ、歴史的建造物）

佐用町の充実度アンケート集計①（2026.1.28時点）

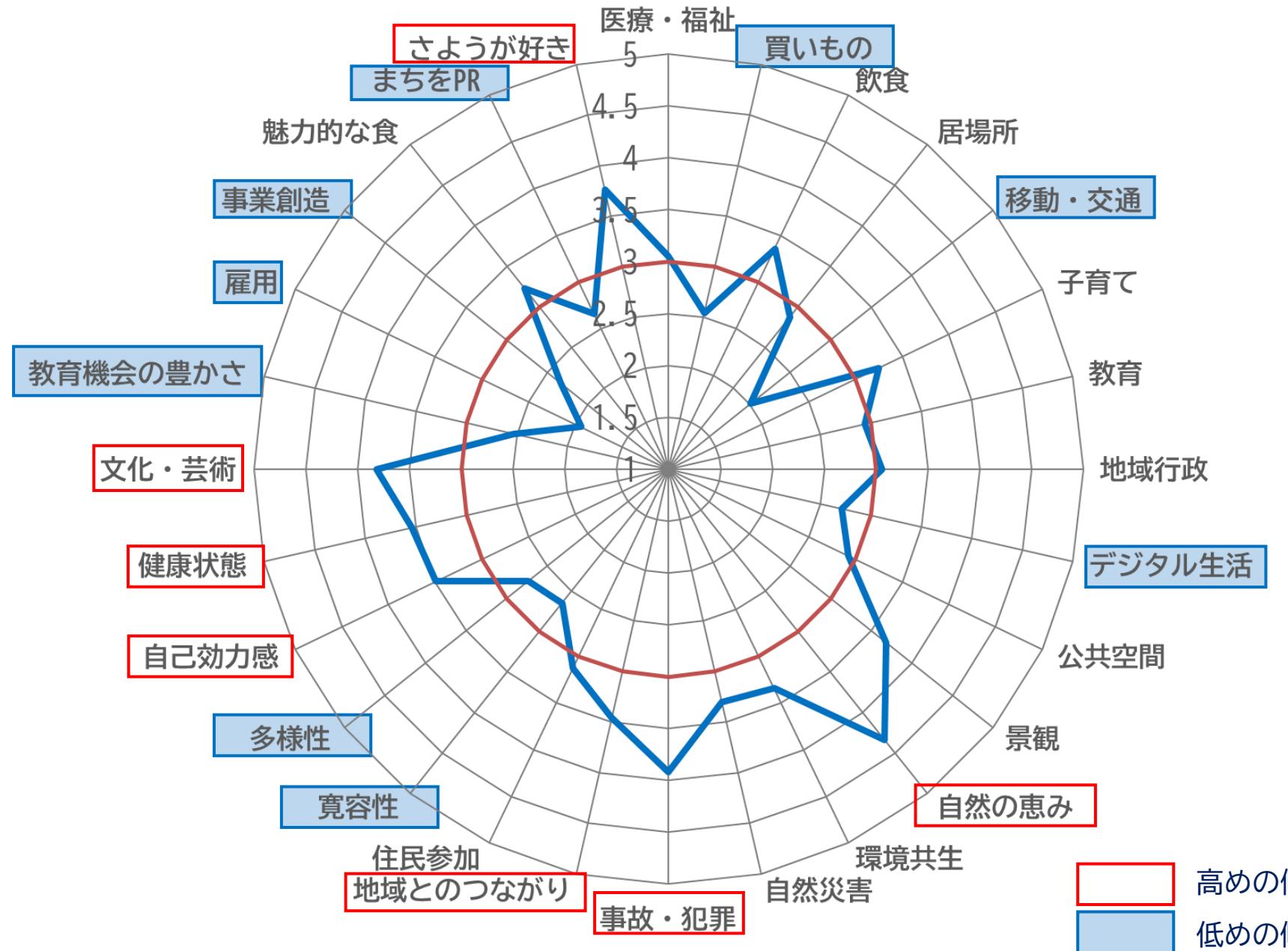
今のあなたは幸せだと感じる



あなたにとって、今の暮らし
は満足している。

今の佐用町の人たちは幸せに
暮らしていると感じる。

佐用町の充実度アンケート集計② (2026.1.28時点)



<①10年後の佐用町のために 大切にしていきたいこと>

前回話し合って出た内容を確認してみましょう

いろいろな視点で

(例：個人や所属組織の一員、アンケート結果)

- ・足りないもの
- ・表現を変えた方がいいもの

<②大切にしていきたいことのために 「私」が「私たち」ができること>

たとえば、

- ・自分の周りの人（家族、近所の人、友人など）を想像
- ・中学生の話し合いを参考

⇒自分自身がどう関わったら実現できそうか

～話し合いの共有～

- ①各グループを自由に回る

- ②縮充宣言カードに記入

私の縮充宣言カード

私の縮充宣言

私は10年後の佐用町のために、

を大切にします。



私にできることは、

です。

なまえ

講評